
多面的機能支払 メールマガジン

「農村ふるさと保全通信」 第 61 号(2019. 3. 25)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力！

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 61 号をお届けします。

今回の活動組織の活動紹介では、高齢者が多い中でもため池堤体の草刈りや 2km の鳥獣被害防止柵の点検・補修に取り組む組織を紹介します。

事務局からは、イベントの報告、「連載：ロゴマークの活用事例」についてお知らせします。

---第 61 号の目次-----

1. 活動組織の活動紹介

☆穂^ほ崎^{さき}地域資源保全会（岡山県^{あかいわ}赤磐市）☆

2. イベントの報告！

☆多面的機能発揮促進事業関東農政局長表彰を開催☆

☆「とんぼの未来・北の里づくり」事例発表会を開催☆

3. ロゴマークの活用事例～シリーズ 3：看板・研修資料～

（編集後記）

■ 1. 活動組織の活動紹介 (1)

～穂崎^{ほさき}地域資源保全会(岡山県^{あかいは}赤磐市)～■

～地区概要～

岡山県北東部に隣接する赤磐市の南部にある都市型地域を拠点に活動。米作りが中心の地域。

活動範囲は、田40ha、畑0.4ha、水路12km、農道7.5km、ため池9箇所。

～主な取組～

- ◎本組織では、農業従事者の高齢化等により農業用施設の維持管理が困難となっている中で、施設の点検・補修・草刈りに取り組んでいます。
- ◎特に急傾斜のため池堤体の草刈りは、高齢者にとって過酷な作業です。そのため、機械を用いた作業への切り替えを計画しており、構成員12名が重機の操縦方法に関する講習を受講しました。
- ◎また、鳥獣被害の防止対策として、地区の自治会が農地周りに設置した2kmの防止柵について、見回り点検や補修等を行っています。
- ◎そのほかにも、地域の景観形成に向けて、約600mにわたる水路脇にコスモスを植栽しています。「こんなにきれいな田んぼのお米なら安心できる」との消費者の声もあり、活動の励みとなっています。
- ◎今後も、地域の方と共同して農業用施設の保全管理や農村環境保全活動を行うことで、地域を守っていきたいと思います。

【穂崎地域資源保全会：代表 小倉俊明】



水路の補修



急斜面のため池堤体の草刈り



2kmの獣害防止柵を点検・補修



水路脇へのコスモスの植栽

■2. イベントの報告！（1）

～多面的機能発揮促進事業関東農政局長表彰を開催～ ■

2月19日（火）、さいたま新都心合同庁舎2号館において、「平成30年度多面的機能発揮促進事業関東農政局長表彰」が行われました。関東農政局管内で取り組まれている本交付金の活動の中から優良組織が表彰され、受賞組織による事例発表会が実施されました。

本イベントは今回が初めての開催となりますが、当日は管内の活動組織や行政関係者など約110名が参加しました。

最優秀賞には、「^{さんくちょう}三区町環境保全隊（^{なすしおばら}栃木県那須塩原市）」、「^{しかだやま}鹿田山周辺広域協定（^{きと はぐく}群馬県みどり市）」、「^{ほくと}村山の郷・育む会（^{ほくと}山梨県北杜市）」、「^{ふるさと}いいな故里は、^{むつ}守ろう原睦み会（^{ふじのみや}静岡県富士宮市）」の4組織が、優秀賞には6組織が選ばれました。

事例発表会では、各受賞組織から、^{なすそすい}那須疏水の歴史や水利施設の役割等の理解促進を目的とし、多くの住民が参加した「田園ウォーク」、特別支援学校と連携した農福連携、世界かんがい遺産を活用したイベント、富士山や棚田の景観を生かした竹灯籠まつりなどの特色ある取組が紹介されました。

また、会場から受賞組織に対し、「非農家が参加する場合のとりまとめ役は誰が担っているのか」、「学校や保育園と連携するに至ったきっかけは何か」といった質問があり、有意義で盛況な会となりました。



受賞式の様子



受賞者の方々



会場の様子

【関東農政局 農地整備課】

■2. イベントの報告！（2）

～「とんぼの未来・北の里づくり」事例発表会を開催～ ■

2月27日（水）に北海道総合体育センター「北海きたえーる」（北海道札幌市）において、平成30年度「とんぼの未来・北の里づくり」事例発表会が開催されました。本イベントは地域の特性を活かした効果の高い活動を普及・推進することを目的として開催されています。当日は活動組織の構成員や自治体・土地改良区の担当者等、全道から約2,100名を越える参加者で会場が埋め尽くされました。

事例発表では、北海道日本型直接支払推進協議会の事例研究会のメンバーである芽室町（めむろちょう）上伏古（かみふしこ）環境保全組合の鳥本組合長より、「多面的機能支払交付金事業に係る先進地視察研修報告」と題して、昨年度に栃木県及び茨城県の活動組織や土地改良区を視察した内容が報告されました。「地域環境を守りたい」「災害に強い地域にしたい」等の目標に向かって、住民主体で楽しく活動をしている点に刺激を受けたとのことでした。

また、留萌市（るもいし）の特定非営利活動法人「るもい農業応援隊」の佐藤事務局長からは「地域連携を通じたるもい農業の発展を目指して」と題して発表がありました。このNPOは活動組織の事務の受託のほか、市内の小学生を対象とした農業体験の指導や「るもい農福連携推進協議会」と連携した障害者が参加する取組の推進など幅広い活動を行っています。

会場では「とんぼの未来・北の里づくり」子供絵画コンテストへの応募作品も展示されており、小学生による田植えや収穫風景、トラクターなど農村を描いた絵画約260点が展示されました。



「とんぼの未来・北の里づくり」開会



先進地視察研修報告



NPO 法人 るもい農業応援隊



子ども絵画作品展

【北海道日本型直接支払推進協議会】

■3. ロゴマークの活用例～シリーズ3:看板・研修資料～■

多面的機能支払ロゴマークについて



農林水産省では、「多面的機能支払交付金」の活動や意義について関心を高め、活動の輪を広げることを目的として、ロゴマークを作成しました。

本記事では、全国各地でロゴマークがどのように使われているのかを知ってもらうことで、より多くの組織にロゴマークを活用してもらいたいと考えています。今回は看板や研修資料に用いた活用例を紹介します。

●^{とみかまち}十日町地区農地・水・環境保全広域協定(新潟県長岡市)

組織の概要

新潟県の中部に位置する長岡市を拠点に活動する組織です。活動範囲は、田 256ha、畑 12ha。対象施設は、水路 91km、農道 46km。

ロゴマークの活用方法

子ども達が「自然を守ろう」というテーマで絵を描いた看板にロゴマークを使用しました。看板は、子ども達の通学路でもある農道沿いに設置し、組織のPRに活用しています。



今後の展望

今後は、活動組織が全戸に配布しているPRチラシに掲載し周知していきたいと考えています。

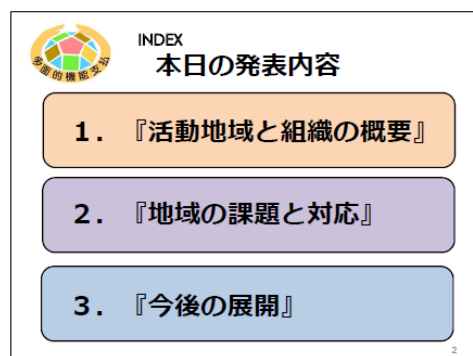
●^{にゅう}丹生環境保全会（群馬県富岡市）

組織の概要

群馬県の南西部に位置する富岡市を拠点に活動する組織です。活動範囲は、田 24ha、畑 67ha。対象施設は、水路 12km、農道 27km。

ロゴマークの活用方法

平成 30 年度農村振興リーダー研修地区事例発表の資料にロゴマークを記載しました。



事例発表で用いた資料

今後の展望

国で作成したロゴマークを活用することで、全国の活動組織とともに農地の維持に取り組んでいる気持ちになります。今後も本交付金を有効に活用していきたいと思います。

●福井県多面的機能発揮推進協議会（福井県）

ロゴマークの活用方法

活動組織を対象として開催するセミナー（年１回）や研修会（年１２回程度）の資料に使用しています。



セミナーで用いた
資料



研修会で用いた資料



今後の展望

今後は、封筒や名刺への使用を計画しているほか、ホームページにも掲載していきたいと考えています。

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■編集後記■

別れと出会いの季節になりました。私もこの春より異動となるため今は荷造りに追われています。去年の今頃は段ボール3箱で上京してきたのですが、あれから一年が経過し、驚くほど増えた荷物に絶望しています。段ボールが足りなくなったら買いに行くを繰り返していたら、早くも10箱を越えました。魔がさして買った物も多くあり反省するばかりです。引越しの見積もりを見るととんでもない額だったので、これを機に断捨離します。

さて、本号を持ちまして担当交代となります。ご愛読いただいた皆様、また作成にご協力いただいた皆様に心より御礼申し上げます。一年間ありがとうございました。なお、次号の配信日は、4月8日(月)を予定しています。今後とも「農村ふるさと保全通信」をよろしくお願い申し上げます。

◇バックナンバー◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_sihara_i/nouson_furusato_hozen/index.html



バックナンバーはこちらからもご覧いただけます！

◇平成30年度多面的機能支払交付金のあらまし◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。どんどんご活用ください！！

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/H29/pdf/logo.docx



高めよう 地域協働の力！

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから！

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：藤田、大木）

TEL：03-3502-8111（内線5493）
